

日本周辺における浅部超低周波地震活動 (2015年5月～7月)

- 5月～7月に日向灘および足摺岬沖で浅部超低周波地震活動
- 5月上旬に日向灘で活動を開始し、6月初旬までに足摺岬の南方沖に到達、7月上旬には活動がほぼ収束
- 足摺岬沖における顕著な活動は、豊後水道SSEと同期して発生した2010年以來

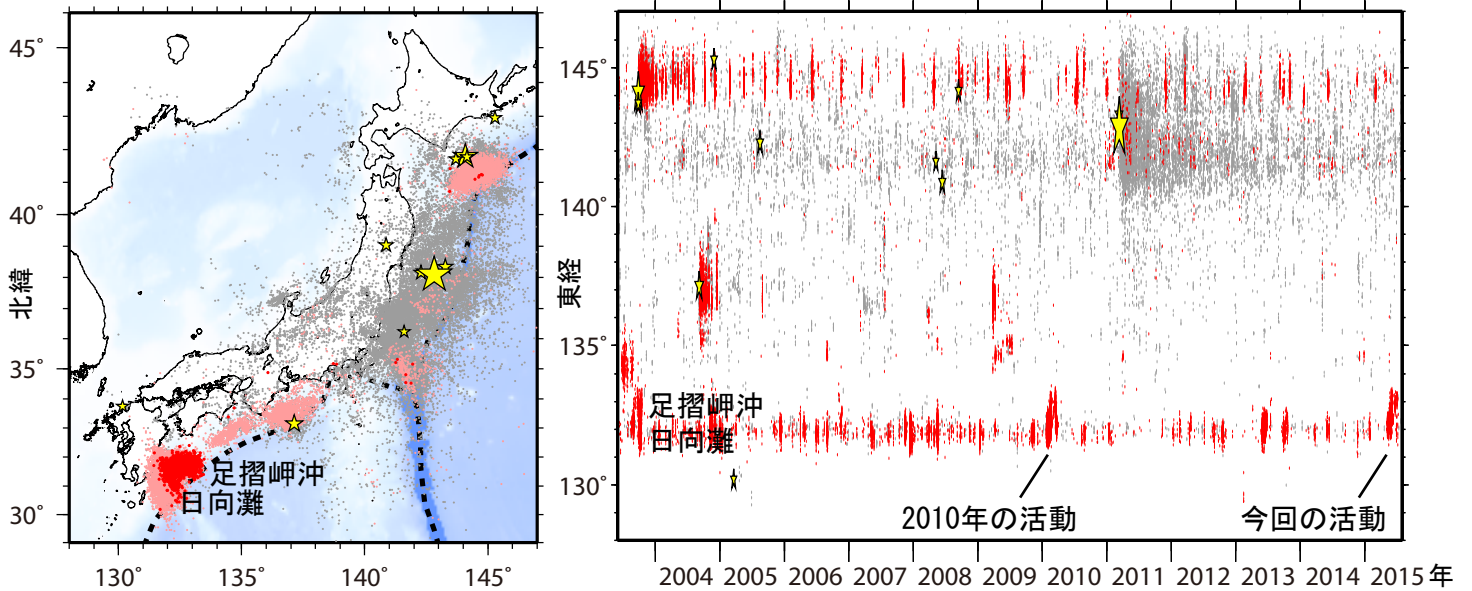


図1. 2003年6月1日から2015年7月31日までの期間にアレイ解析 [Asano et al. (2008)] によって検出されたイベントの震央分布 (左) および時空間分布 (右). 検出イベントを防災科研 Hi-net の手動または自動検測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色で, それ以外 (主に超低周波地震) を左図では桃色 (2015年4月以前) および赤色 (5月以後) の, 右図では赤色の点でそれぞれ示す. 期間内に発生した M7以上の地震の震央を黄色星印で併せて示す (ただし, 2011年3月11日以降は東北地方太平洋沖地震の本震のみ).

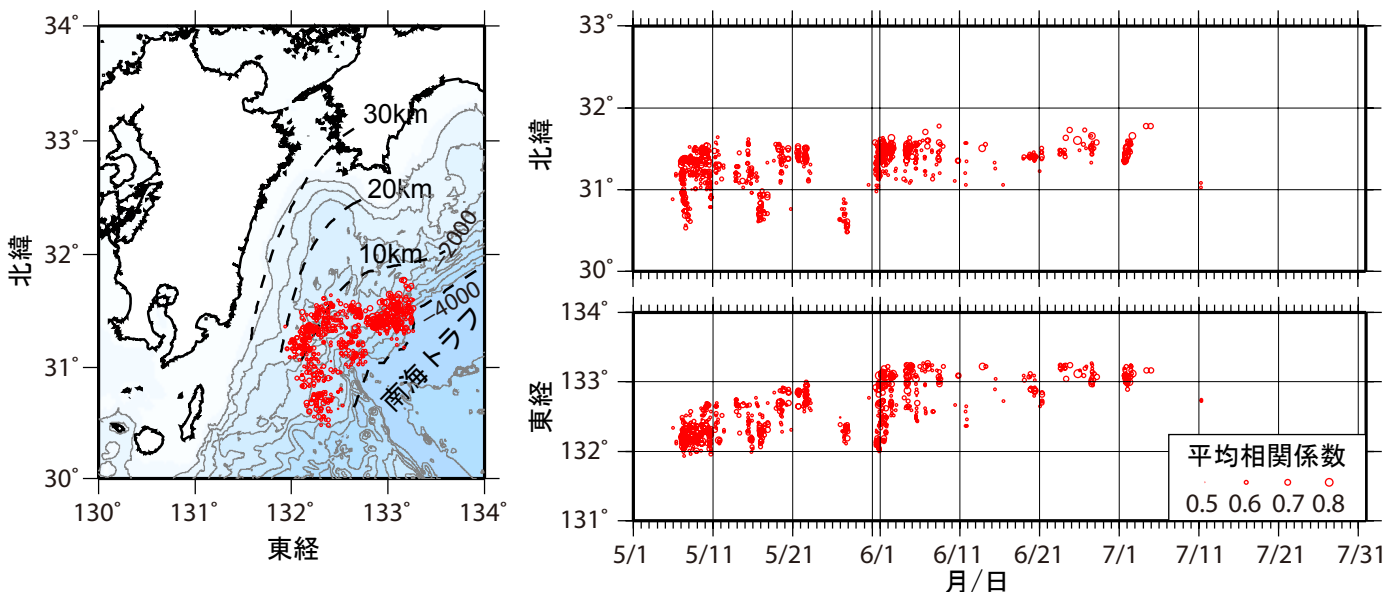


図2. 2015年5月1日から7月31日までの期間に波形相関解析 [Asano et al. (2015)] によって検出されたイベントの震央分布 (左) および時空間分布 (右2パネル). セントロイド時刻および位置が既知の浅部超低周波地震4イベントと記録波形が類似したイベントを検出し, 赤丸印で示す. 南海トラフおよび沈み込むフィリピン海プレート上面の深さ分布 [地震調査研究推進本部 (2004)] を破線で併せて示す.